横浜市立みなと赤十字病院
YOKOHAMA CITY MINATO RED CROSS HOSPITAL
医療連携センターだより No.18

みなとからの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 ／ TEL 045-628-6100㈹
http://www.yokohama.jrc.or.jp/
●発行：2012年9月　医療連携センター

Contents

■新生児部門のご紹介…… 1
■化学療法センターのご紹介 …… 2
■CT・MRI時間外運用について …… 3
■新任医師のご紹介…… 3
■第3回みなと市民セミナー開催のお知らせ…… 4
■4区医師会・合同研究会開催のお知らせ…… 4
■第2回緩和ケア研修会開催のお知らせ…… 4

みなとトピックス

Topics 新生児部門のご紹介

小児科　粟　生　耕　太

2012年7月25日、当院は神奈川県から地域周産期母子医療センターの指定を受けました。また併せて神奈川県周産期救急医療システム受け入れ病院の中核病院に指定されました。当院の新生児に対する取り組みをご紹介させていただきます。

本年度から産婦人科医師が増員され、従来よりも多くの出産に対応が可能となりました。分娩件数増加に対応するための産婦人科病棟の改装工事も終了し、LDR室、分娩室、新生児室、NICUと地域の周産期医療に貢献できる体制が整いました。分娩数は、平成23年度の約600件から平成24年度は約1,000件へと増加する見込みで、リスクの低いと思われる分娩からの新生児にも万全の体制で対応するべく、産婦人科病棟スタッフは全員、日本周産期・新生児学会認定の新生児蘇生法講習会を受講しています。また小児の健やかな発育には母乳は欠かせないと考えており、出産直後のカンガルーケアや母子同室、母乳外来などを通して、母乳育児を推進しています。

小児科医も出産準備クラス（いわゆる母親学級）への参加や日々の回診、退院後の健診や予防接種を通して、妊娠中から出産時、出産後にわたって連続した新生児のサポートが可能となるよう努めています。

開院以来5D病棟に併設されていた新生児集中治療室（NICU）は、昨年4月から再整備を行い、昨年6月に独立した病棟となりました。現在NICUとして6床で運営しています。

昨年4月までのNICUの受け入れ基準は「34週・2,000g以上の新生児」でしたが、NICUの再整備を行い、現在は「30週・1,250g以上の新生児」の受け入れが可能となっています。また神奈川県周産期救急医療システムの中核病院として新生児搬送や基幹病院からの戻り搬送などにも対応しています。

重篤な外科的疾患には対応できませんが、昨年度においては眼科・形成外科・耳鼻咽喉科・整形外科・皮膚科・リハビリテーション科・歯科口腔外科など他科の力を借りながら対応しました。また当院では精神疾患合併妊娠にも対応可能であるため、精神疾患合併妊娠からの新生児や社会的にハイリスクな出産も増加しています。精神科や医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、必要に応じて福祉保健センターや市町村、児童相談所とも連携をとりながら、診療をおこなっています。今後も総合病院の利点を生かし、地域の拠点病院として可能な限り地域で小児医療が完結できるよう努めて参ります。

NICUに入院する新生児だけでなく、すべての新生児に対して「赤ちゃんにとって最大の幸福とはなにか」を念頭に診療をおこなっていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

NICU病棟のスタッフ

6床のNICUで診療しています

Topics 化学療法センターのご紹介

がんセンター長　阿　部　哲　夫

みなと赤十字病院の化学療法センターは今年７月９日、当院５階に新設、移転いたしました。これまでは８床の狭い治療室でしたが、２４床に増床し、かなり広いスペースを確保しております。化学療法を受けられる患者さんに安全で快適な治療環境を提供できるように、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、担当事務などによる、患者さん中心のチーム医療を行っています。

化学療法センターは当院がんセンターの中でも、診療上、大変に重要な役割を担っており、また、常に安全で確実な治療が最も最優先される部門の一つです。

化学療法センターの設備は点滴治療を受けていただくリクライニングチェア21台、リクライニングベッド３台を完備しています。薬剤はセンター内の無菌調剤室で、専門の薬剤師が、安全・確実、且つ衛生的に調剤しております。

治療の対象は点滴または筋肉注射、皮下注射による化学療法やホルモン療法が必要な各種悪性腫瘍の患者さんと、分子標的薬剤などによる治療が必要な関節リウマチなどの患者さんです。

これまでの実績としては年間約2400人の外来患者さんに利用いただいておりましたが、当院が今年４月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、また、肝胆膵内科の新設、肝胆膵外科、乳腺外科の各専門医の赴任などから、今後、益々、当センターの利用患者さんの増加が見込まれます。尚、入院での化学療法もこれまで年間2400人ほどの患者さんに実施してきましたが、入院の化学療法に関しても、徐々に増加する見込みです。入院、外来とも化学療法剤の調剤は当センター内において薬剤師２名体制で安全第一に行っています。

当センターの診療時間は月曜日から金曜日の平日、午前８時30分から午後５時です。

現在は、当センター常勤の医師はおりませんので、各診療科の担当医が安全を最優先して、化学療法センター常勤の薬剤師、看護師と連携しながら、化学療法、ホルモン療法施行患者さんの診療に当たっております。

今後、新たに開発されてくる、化学療法、ホルモン療法の薬剤が益々、増えてきますので、当センターの重要性は一層、高くなることが予想されます。

患者さんの期待、要望に、常に応えられるように、各診療科の担当医および化学療法センターのスタッフ一同、これからも日々、研鑽を積んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

外来化学療法センタースタッフ

開所式

外来化学療法センター

CT・MRI　時間外運用について

平素は、地域医療連携にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
６月より時間外でのCT・MRIの検査枠を増設しました。
また造影CT検査もお受けしております（時間内、下記曜日限定）。どうぞご利用ください。
詳しくは、当院ＨＰをご覧ください。

MRI/CT 予約方法

予約専用ダイヤル　045−628−6365

（予約受付時間　平日8:30〜17:00）

MRI

	検査項目	検査可能日	時間帯（検査枠）	
MRI	頭部	月・木曜日	10:00	左記以外の時間枠は、ご相談下さい。
	頭部以外	火・水・金曜日	10:30	

時間外MRI	全ての部位	第２、第４の火曜日・金曜日	17:00 ～ 19:00	心臓等の特殊（部位）撮影、造影撮影を除く。
		第２、第４の土曜日	9:00 ～ 12:00	

CT

	検査項目	検査可能日	時間帯（検査枠）	
CT	単純	平日	11:00、15:00、15:30	左記以外の時間枠は、ご相談下さい。
	造影	**毎週火曜日・金曜日**	10:30、14:00	

時間外CT	全ての部位（造影以外）	第２、第４の火曜日・金曜日	17:00 ～ 19:00	
		第２、第４の土曜日	9:00 ～ 12:00	

（お願い）予約申込み後に、診療情報提供書をFaxしてください。

Fax；045−628−6367（地域医療連携課直通Fax）

詳細は、当院ホームページ http://www.yokohama.jrc.or.jp/の「医療連携センター」頁でも、ご案内しております。

新　任　医　師　の　ご　紹　介

新しく就任した医師をご紹介させていただきます。今後地域の先生方と地域医療の連携を推進していきたいと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。

＊＊＊ 質問項目 ＊＊＊

①診療科（専門領域）
②取得認定医
③卒業大学
④卒業年度
⑤趣味
⑥地域の先生方へ一言！

サイトウ フミエ
齋藤文美恵

①心臓血管外科（心臓血管外科領域全般）
②日本胸部外科学会認定医、心臓血管外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本外科学会専門医
③鳥取大学
④平成２年
⑥「地域のために頑張ります。よろしくお願いします。」

第3回みなと市民セミナー

当院では、横浜市民の健康増進、身近な病気について正しい知識を身につけることを目的に、CSR活動（企業の社会的責任）の一環として、市民向け公開セミナー「みなと市民セミナー」を開講しました。

本セミナーは年2回程度の開催とし、毎回一般市民に興味深いテーマをとりあげます。

第3回は11月24日(土)13:00～15:15はまぎんホールヴィアマーレ(西区みなとみらい)で、「生活習慣病のうそ･ほんと?血圧･血糖･コレステロールについて」というテーマで、院内外の講師により講演を行います。

貴医療機関でご興味のある患者様がいらっしゃいましたらご案内ください。

申込みは：みなと赤十字病院ホームページの申込専用フォーム（http://www.yokohama.jrc.or.jp/）の他、ＦＡＸ、お葉書でも受付けます。

お問合せは:医療連携センター☎045-628-6365(直通)

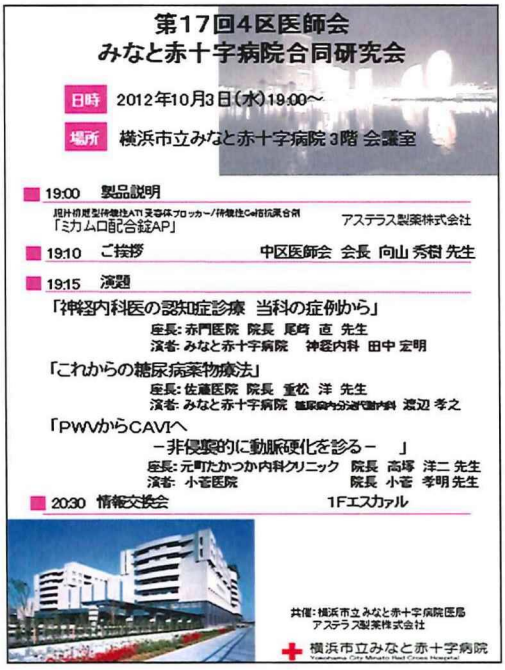
第3回みなと市民公開セミナー

生活習慣病のうそ・ほんと？
血圧・血糖・コレステロールについて

日 時：2012年11月24日(土)13:00～15:15(12:00開場)
場 所：はまぎんホール ヴィアマーレ(みなとみらい)
横浜市西区みなとみらい3-1-1 TEL:045-225-2173

・13:00～13:05 開会にあたり
横浜市立みなと赤十字病院 院長 西宮 達一
・13:05～13:20 「健康病況21の取組み」
横浜市健康福祉局総務課 課長 水野 哲定
・13:20～13:40 「コレステロールのうそ･ほんと」
横浜市立みなと赤十字病院 糖尿病内分泌内科 千石 哲一郎
・13:40～14:00 「血圧のうそ･ほんと」
横浜市立みなと赤十字病院 循環内科 部長 中村 太一
・14:00～14:10 休憩
・14:10～14:30 「血糖のうそ･ほんと」
横浜市立みなと赤十字病院 診療長 渡辺 孝之
・14:30～15:00 「メタボ予防を目指した生活習慣病の効果」
新山手病院 生活習慣病センター長 宮崎 滋
・16:00～16:15 ご質問への回答等

第17回4区医師会･みなと赤十字病院合同研究会の開催


第17回4区医師会
みなと赤十字病院合同研究会

日時 2012年10月3日(水)19:00～
場所 横浜市立みなと赤十字病院 3階 会議室

19:00 製品説明
「ミカムロ配合錠AP」 アステラス製薬株式会社
19:10 ご挨拶 中区医師会 会長 向山 秀樹 先生
19:15 演題
「神経内科医の認知症診療 当科の症例から」
座長: 赤門医院 院長 尾崎 直 先生
演者: みなと赤十字病院 神経内科 田中 宏明
「これからの糖尿病薬物療法」
座長: 佐藤医院 院長 重松 洋 先生
演者: みなと赤十字病院 糖尿病内分泌代謝内科 渡辺 孝之
「PWVからCAVIへ
－非侵襲的に動脈硬化を診る－ 」
座長: 元町たかつか内科クリニック 院長 高塚 洋二 先生
演者: 小菅医院 院長 小菅 孝明 先生
20:30 情報交換会 1Fエスカァル

共催: 横浜市立みなと赤十字病院医局
アステラス製薬株式会社
横浜市立みなと赤十字病院

4区（中・磯子・南・西区）医師会とみなと赤十字病院合同研究会を10月3日（水）19：00から当院会議室で開催します。

今年度は中区医師会にご担当いただき、医師会より１演題ご提示いただく予定です。

また研究会後は、ささやかながら情報交換会を予定しております。

多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

西区医師会 進藤会長のご発表

第2回緩和ケア研修会

2012年がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画では、「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことが求められています。

これを受け、本年４月に地域がん診療拠点病院の指定を受けた登院は、９月22日・23日に、厚生労働省の開催指針に沿った緩和ケア講習会を開催します。

紹介患者さんのお問い合わせご予約は地域医療連携課

電話 045-628-6365（直通）／ＦＡＸ 045-628-6367（直通FAX）
E-mail：minato-renkei@yokohama.jrc.or.jp